

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52329	子育て支援 Community's Role in Fostering Children	太田 富士子	専門	1	選択	2年後期
<b>科目の概要</b>						
近年、保育者の役割として、児童福祉施設を利用する子どもへの援助は当然のこと、さらに幅広く親や地域社会の子育て家庭などへの支援が増々求められている。それに応じるために、現在の家族を取り巻く社会状況における家庭生活、特にその人間関係(夫婦・親子・きょうだい)や子育て家庭のニーズを知り、保育者の役割である子育て家庭への支援の基本や体制、地域の社会資源との連携のあり方などを認識する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 家庭の意義とその機能について知る。 ② 子育て家庭を取り巻く社会状況等について理解する。 ③ 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援内容を知る ④ 子育て家庭の支援の基本や体制について認識する。 ⑤ 地域の関係機関との連携のあり方や保育者の役割を認識する。			① 家庭の意義とその機能について述べるができる。 ② 現在の子育て家庭を取り巻く社会状況等について説明することができる。 ③ 現在の子育て家庭のニーズに応じた多様な支援内容の例を挙げるができる。 ④ 支援の基本を認識し、体制と比較することができる。 ⑤ 地域の関係機関との連携のあり方や保育者の役割を推論することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	地域の子育て支援における保育者の役割とは？という目標に向かって、課題を見つけて取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	提出物作成や目標に向かって進向することができ、最後までやり遂げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	提出物作成は期日を守り、計画的に進行できる。				
	創造力	「自分ならこう考える」「このようにした方が良い」と発想する習慣がつく、共に固定概念にとらわれることなく、いろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	課題について整理した内容を、的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:「改訂 保育士をめざす人の家庭支援」 山本伸晴・白幡久美子 (株)みらい 2000円 適宜資料プリントを配布する						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:保育相談の基礎、社会福祉、児童家庭福祉、保育者論 資格との関連:保育士、幼稚園教諭						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
・配布プリントや資料は講義に合わせてまとめておくこと。 ・新聞・ネット等で子育てに関するニュース・問題などに関心をもち学習に臨むこと。			・保育者を目指す者として、ふさわしい自覚を持って受講すること。(私語厳禁、携帯電話はカバンにしまっておく事、課題提出は期限を守る事、途中退出は許可制)			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	・基礎内容を理解し、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する ・ポイント①問題を適切に捉えて、それに対し、自らの意見で主張できているか。 ②重要なポイントを押さえているか
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト	20	①	✓	・適時の小テストの点数を平均して判定する。 ①授業内容をできているかを確認する。 ②穴埋め問題を中心に出題する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
レポート	20	①	✓	・課題①「家庭の教育的意義と自分にとって家族とは」A4で1枚(5点) ・課題②「男女共同参画社会・ワークライフバランスについて」A4で1枚(5点) ・課題③「保育士の専門性と自己覚知について」A4で1枚(5点) ・課題④「保育者の保育所における具体的支援(連絡帳)」A4で1枚(5点)
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(発信力) ・発表の仕方を工夫してわかりやすく発表できる。 (傾聴力) ・「あいづち」や「うなづき」簡単な質問に答える等話を聞く姿勢ができています。 (規律性) ・遅刻、無断欠席・学習意欲欠如、課題やその他提出物の未提出、グループ活動への非協力など、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
★筆記試験等において地域社会の現状、子育て支援の具体的なポイント、保育者としての適切な役割、具体的な支援内容を完璧に理解し(①)論理的に説明できる。(②) ★保育者として必要な社会人基礎力を完璧に身に付けている。(③) S(秀) = ① + ② + ③、A(優) = ① + ③	★筆記試験等において地域社会の現状、子育て支援の具体的なポイント、保育者としての適切な役割、具体的な支援内容をほぼ理解している。(①) ★保育者として必要な社会人基礎力をほぼ身に付けている(②) B(良) = ① + ②、C(可) = ①

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	子育て家庭を取り巻く状況と家族・家庭の定義と現状、家庭の教育的役割を理解する	講義	自分の家族・家庭を分析し、意義と機能を文書にまとめることができる。	(復習) 家庭の意義と機能をまとめること (予習) 子育て家庭の課題をテキストで確認すること	180	主体性 発信力 実行力
2週 /	子育ての悩みとその背景を理解する。	講義 家庭の意義と機能の文書にフィードバックする。	子育ての悩みとその背景を整理し、わかりやすく文書にまとめることができる。	(復習) 子育ての悩みとその背景について整理し、文書にまとめる (予習) 保育者の役割をテキストで確認すること	240	課題発見力 計画力
3週 /	家庭と仕事の両立の現状、国の取り組みと保育者に期待される役割・支援の基本を理解する。	講義 子育ての悩みとその背景の文書にフィードバックする。	男女共同参画社会とワークライフバランスについてレポートにできる。	(復習) 男女共同参画社会・ワークライフバランスのレポート作成すること (予習) 相談支援についてテキストで確認すること	360	主体性 課題発見力 計画力 規律性 実行力
4週 /	子育て家庭を取り巻く社会環境の変化と地域における子育て支援の為の社会資源を理解する。	講義 男女共同参画社会とワークライフバランスについてのレポートにフィードバックする。	地域における子育て支援の為の社会資源をわかり易く説明できる	(復習) テキストで子育て支援の為の社会資源の概要を復習すること (予習) ネットワーク化についてテキストで確認すること	240	主体性 課題発見力 発信力 規律性
5週 /	子育て家庭の再構築についてネットワーク化の必要性を理解する	講義 授業開始時に、小テスト(復習の内容に答えた後、フィードバックする)	ネットワーク化の必要性を整理し、わかり易く文書にまとめることができる。	(復習) 子育て家庭の再構築・ネットワーク化の必要性を文書にまとめること (予習) 専門機関についてテキストで確認すること	240	主体性 発信力
6週 /	保育所と他の専門機関(社会福祉、母子保健・医療、保育・教育、企業)との連携を理解する。	講義 子育て家庭の再構築・ネットワーク化の必要性を文書にまとめた文書にフィードバックする。	保育所と他の専門機関(社会福祉、母子保健・医療、保育・教育、企業)との連携を整理し、わかり易く説明できる。	(復習) テキストで保育所と他の専門機関との連携を復習する (予習) 児童福祉施設についてテキストで確認すること	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
7週 /	児童福祉施設(乳児院・児童養護施設・障害児支援関連施設・母子生活支援施設)における家庭支援の考え方を理解する。	講義 授業開始時に、小テスト(復習の内容に答えた後、フィードバックする)	児童福祉施設における家庭支援の考え方を整理し、わかり易く説明できる。	(復習) テキストで児童福祉施設における家庭支援の考え方を復習すること (予習) 児童福祉施設についてテキストで確認すること	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
8週 /	保育者が行う家庭支援の基本としての相談支援を理解する。	講義 質疑応答。復習のまとめ発表。	保育者が行う家庭支援の基本としての相談支援を整理し、わかり易く説明できる。	(復習) テキストで保育者が行う家庭支援の基本としての相談支援を復習すること (予習) アセスメントと面接技法についてテキストで確認すること	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	保育者が良き相談支援者となる為にはどのような理解をする。	講義 授業開始時に、小テスト(復習の内容に答えた後、フィードバックする)	保育者が行う相談支援のあり方をわかりやすく整理し、説明ができる。	(復習)テキストで保育者の役割を復習すること (予習)保育所による家庭支援をテキストで確認すること	180	主体性 発信力
10週 /	保育所による日頃の家庭支援(連絡帳・子育て相談等)の実際を理解する。	講義 授業開始時に、小テスト(復習の内容に答えた後、フィードバックする)	保育所による日頃の家庭支援の連絡帳を書くことができる。	(復習)テキストで保育所による家庭支援を復習し、連絡帳を書くこと (予習)地域の役割である家庭支援をテキストで確認すること	240	創造力 主体性 発信力
11週 /	地域に開かれた保育所の実際を理解する。	講義 記入された連絡帳にフィードバックする。	地域に開かれた保育所の実際をわかりやすく整理し、説明ができる。	(復習)テキストで地域に開かれた保育所の実際を復習する (予習)児童虐待についてテキストで確認すること	240	主体性 課題 発見力 発信力 規律性
12週 /	養育支援を必要とする家庭(要保護・外国にルーツをもつ)への支援の実際を理解する。	講義 保育所における家庭支援の実際 DVDを見てフィードバックする。	児童虐待に関する記事等レポート作成することができる	(復習)児童虐待に関する記事等のレポート作成をすること (予習)児童虐待についてテキストで確認すること	240	主体性 課題 発見力 発信力 規律性 実行力
13週 /	養育支援を必要とする家庭(障害児等)への支援の実際を理解する。	講義 保育所における家庭支援の実際 DVDを見てフィードバックする。	養育支援を必要とする家庭(障害児等)への支援の実際をわかりやすく整理し、説明ができる。	(復習)児童虐待に関する記事等のレポート作成をすること (予習)各家庭に対する支援の実際についてテキストで確認すること	240	主体性 課題 発見力 発信力 規律性
14週 /	各家庭(夫婦共同の子育て、祖父母と地域の子育て)に対する支援の実際を理解する。	講義 授業開始時に、小テスト(復習の内容に答えた後、フィードバックする)	各家庭に対する支援の実際を分かり易く整理し、説明ができる。	(復習)テキストで各家庭に対する実際を復習すること (予習)保育者の子育て支援の課題についてテキストで確認すること	240	主体性 課題 発見力 発信力 規律性
15週 /	保育者の子育て支援の課題について意見を出し合い、自分の考え方をまとめる。	グループ討議・意見発表	他の人の意見を聴き、自分の意見をまとめ発表できる。	(復習)保育者の子育て支援の課題について意見をまとめレポートを作成する	360	傾聴力 主体性 課題 発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力